

どうあるべきか 合併のゆくえは

住民説明会やアンケートを実施

西尾市・幡豆郡の各地で、合併に対する住民説明会が行われました。合計19会場で、2,913人の参加者があり、各首長からは、合併に対する積極的な発言、住民から多くの質問や意見が出されました。一色町では各小学校区で行われ、述べ623人の出席があり、49項目の意見がありました。主な質疑応答をご紹介します。

西尾市長

合併により行財政改革を推進し、子育て、教育、高齢者福祉等の諸施策を充実すべきと思います。子ども代、孫の代になり、合併してよかったですと思ってもらせるよう、我々が取り組んでいかななくてはと思っています。

一色町長

少子・高齢化、地方分権が進んでいくと予想されます。旧態依然とした行政という垣根で隔てられていて良いのでしょうか。今回の合併は将来、合併して良かったといわれるようにしたいと思っています。

吉良町長

今後迎えるであろう少子高齢化社会、高度化する住民サービスに小さな町では対応仕切れなくなると思います。それが大きな自治体で当たることにより、可能となります。しかし、編入合併といえども、言うべきことは言うてまいります。合併して良かったと思える合併にしたいと思っています。

幡豆町長

合併に至るまでには、多くの合意項目があります。皆さんのご理解が得られるように説明したうえで合併を進めていきます。合併は次の世代への「宝」であると確信しています。現在の少子・高齢化・多様化する行政需要に対応するために合併するべきだと思います。

一色町のQ&A

Q 住民投票をするつもりがあるのでしょうか。

A 住民投票は、住民の皆さんの意思を把握する有効な方策の一つであると考えています。しかし、行政が抱えている課題は、「はい」「いいえ」で処理できない問題も多く、特に市町村合併に関しては協議と妥協を繰り返しながら、一定の協議を経て、結論を導き出すということが望ましいと考えています。よって、現時点では住民投票の実施は考えていません。

Q 新市の名称は、どうするのですか。

A 編入する「西尾市」とすることを原則に協議することとしており、今後皆さんのご意見を参考に協議を進めてまいります。

Q 住民アンケートはどのようにして行うのですか。

A 圏域の18歳以上の住民7,000人（人口の5%）を対象にコンピュータで無作為に抽出して行います。この数字は統計学上で十分という1,250を大幅に上回

るものです。よって、その出てきた結果は信頼するに十分なものと考えています。

Q 以前の協議では編入か新設かで議論が分かれていましたが、どうして編入の判断をしたのですか。

A 合併の方式は大変重要な項目です。一番大切なのは、住民の皆さんが豊かに暮らせるためであり、将来発展するためには必要だと考えました。編入でも住民の豊かさは維持されることとなると考えます。